本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

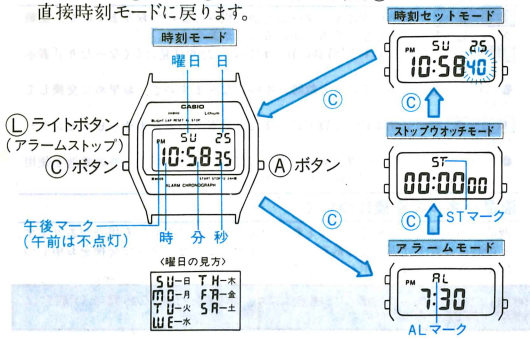
CASIO 415・415W (50M防水) シリーズ の使い方

カシオ計算機株式会社

操作のしくみと表示の見方

Ⓒボタンを押すごとに以下の順でモードが切替わります。(押すごとに確認音が鳴ります)

※各モードでⒶまたはⓁボタンを押した後、Ⓒボタンを押すと直接時刻モードに戻ります。

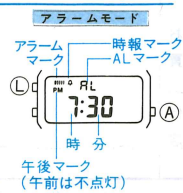


● 時刻モードでⒶボタンを押すごとに12時間制表示と24時間制表示(24Hが点灯)とが切替わります。

アラームの使い方…

操作のしくみにしたがってⒸボタンを押し、アラームモードにします。

アラームは分単位でセットでき、セット時刻になると20秒間電子ブザーで知らせます。
また、毎正時(00分のとき)を"ピッピッ"と電子ブザーで知らせる時報もセットすることができます。



●セットのしかた

1 アラームモードのとき、Ⓛボタンを押すごとに点滅個所が以下の順で移動。
Ⓛボタンでセットしたい個所を点滅させます。



2 Ⓐボタンを押しながら表示をセットします。(押すごとに1つずつ進み、押し続けると早送り)
※「時」のセットのとき午前/午後にご注意ください。
※時刻表示を24時間制表示にしているときはアラーム時刻も24時間制表示となります。

3 セットが終わったら、Ⓛボタンを押してアラームモードに戻します。(Ⓒボタンを押すと時刻モードに戻ります)

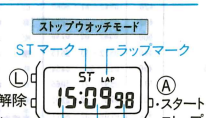
●アラーム、時報のON/OFF

アラームモードのとき、Ⓐボタンを押すごとにアラームマーク、時報マークが点灯、不点灯をくりかえします。
アラームマークまたは時報マークが点灯しているときがONの状態です。

ストップウオッチの使い方…

操作のしくみにしたがってⒸボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは1/100秒単位で59分59秒99(60分計)まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。



★計測のしかた

Ⓐボタンを押すごとに確認音が鳴ります。

●通常の計測

Ⓐ(スタート) → Ⓐ(ストップ) → Ⓛ(リセット)

●ラップタイム(途中経過時間)の計測

Ⓐ(スタート) → Ⓛ(ラップ計測) → Ⓛ(ラップ解除) → Ⓐ(ストップ) → Ⓛ(リセット)

●1着・2着のタイム計測

Ⓐ(スタート) → Ⓛ(1着がゴール 1着タイム表示) → Ⓐ(2着がゴール) → Ⓛ(2着タイム表示) → Ⓛ(リセット)

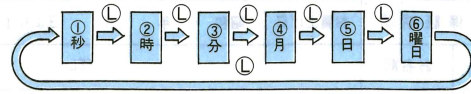
※積算計測
ロスタイムのある場合には、ストップ後リセットせずに再スタート(Ⓐボタンを押す)すれば表示タイムに引き続き計測をはじめます。

秒の合わせ方(±30秒の修正)

Ⓒボタンを押して時刻セットモードにし(秒が点滅)、時報に合わせてⒶボタンを押すと00秒からスタートします。
《00～29秒のとき…00秒へもどり、30～59秒のとき…1分くりあがって00秒からスタートします。》
Ⓒボタンを押すと時刻モードに戻ります。
★時報は「時報サービス電話117番」が便利です。

時刻・カレンダーの合わせ方

1 時刻セットモード(秒が点滅)のとき、Ⓛボタンを押すごとに以下の順で点滅が移動。Ⓛボタンでセットしたい個所を点滅させます。



2 Ⓐボタンを押しながら表示をセットします。(押すごとに1つずつ進み、押し続けると早送り)
※「時」のセットのとき午前/午後、24時間制表示にご注意ください。
※時刻モードのとき「月」は表示されませんが、オートカレンダー機能のため「月」を合わせます。

3 Ⓒボタンを押すと時刻モードに戻り、セット完了。

- ストップウオッチを使用中にⒸボタンを押して時刻モードなど他のモードにしても、その計測には影響ありません。(ラップ計測時を除く)
- 時刻セットモードやアラームのセットで表示を点滅させたままにしておくと、1～2分後自動的に時刻モードに戻ります。
- カレンダーは大の月、小の月を自動判別するオートカレンダーですので、うるう年の2月29日以外は修正不要です。
- アラームモードのときⒶボタンを押し続けると電子ブザーが鳴ります。

製品仕様

水晶発振周波数	32,768Hz
常温携帯精度	平均月差±30秒以内
表示方式	FE型液晶デジタル表示
基本機能	時刻表示＝時・分・秒・午前/午後 カレンダー表示＝日・曜日
アラーム機能	時刻アラーム セット単位＝分 電子ブザー＝20秒間 時報 毎正時に2回電子ブザーで報時
ストップウオッチ機能	計測単位＝1/100秒 計測範囲＝59分59秒99(60分計) 計測機能＝通常計測、積算計測、ラップ計測、1・2着同時計測
セット機構	時刻・カレンダーセット機構、秒合わせ機構(±30秒クリア) アラームセット機構
その他	自動復帰機能 モニターアラーム 12/24時間制表示切替え
主要回路素子	音叉型高性能水晶振動子 ワンチップC/MOS・LSI
使用電池	CR-2016(電池別途販売)
電池寿命	約5年(1日当りライト1秒間点滅、電子ブザーを20秒間使用した場合)

ご使用上の注意

温度 直射日光が長くあたったり、高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。
●遅れ・進みが生じたり、止まったり、電池寿命が短くなることがあります。また、＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

防水性 **●裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの**
防汗構造となっておりますが、防水時計ではありませんので、直接、水に触れるようなご使用はお避けください。
●30M防水および裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの
洗顔や雨など日常の使用に耐える構造になっていますが、水泳・入浴・洗車時などでのご使用はお避けください。
●50M防水の場合 水仕事、スポーツなどでご使用になる水準です。スキンダイビング、高とび込み、ウインドサーフィンなどでのご使用はお避けください。
●防水性能を保つために定期的(2～3年を目安に)なパッキン交換をおすすめします。
●この時計は、電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買いあげの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。(特殊な治具を必要とします。)

ショック 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが落としたり、強くぶつけると故障の原因になります。

磁気 磁気の影響はありません。

お手入れ ケースやバンドの汚れ、汗、水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふき取り、常に清潔にしてご使用ください。金属バンドについては時々、柔らかい歯ブラシなどによって、石けん水でスキ間にたまった汚れを部分洗いすることをおすすめします。
●汚れたままですとサビたり、衣類の袖口を汚したり、皮ふの弱い方はかぶれたりする場合があります。

薬品類 水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着するとケース、バンドなどに変色や破損を生ずる場合がありますのでご注意ください。

保管 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふき取り、高温、多湿の場所をさけて保管してください。

バンド バンドは指1本が入る程度の余裕をもたせてください。

電池交換について

最初の電池 工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

消耗 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「見にくくなったり」「表示が消えたり」します。
●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換 電池交換は必ずお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。
●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。その時はお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。